組合だより

2015. 1. 5 発行　第 167 号

札幌鉄工関連協同組合
・TEL 661-2648　・FAX 665-1408
http//www6.ocn.ne.jp/~s-tekkou/
E-mail : Kanren00@poem.ocn.ne.jp

～　年頭にあたって　～

理事長　今 井 一 彦

新年明けましておめでとうございます。

平成 27 年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

組合員の皆様には、平素から組合運営の各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国では、ＴＰＰ協議への参加など急速に変化する国際社会への対応や持続的な経済成長の実現が求められる中、デフレからの早期脱却に向けて様々な政策が打ち出され、日銀による量的緩和のさらなる拡大と相まって、バブル期を彷彿とさせる円安への誘導が図られ、輸出関連企業は空前の利益を享受して株高に沸き、新卒者の求人倍率も大きく改善するなど、景況は好転しつつあったかに思われました。

しかしながら、４月の消費税増税が国民の消費意欲に大きく水を差し、また、私ども中小企業の経営は円安による材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇などからますます厳しさを増し、さらには、こうした増税と円安による物価上昇に賃上げが追い付いていないことなどから、第２四半期（７～９月期）のＧＤＰは「マイナス０，４ポイント」にとどまり、政府の予想を大きく覆したため、昨年暮れにアベノミクスへの評価をかけて衆議院総選挙が実施されたのは、まだ記憶に新しいところであります。

こうした中、本道においては、円安の追い風を受けてアジアを中心に海外からの多くの観光客が訪れ、また、木質バイオマスなどによるエネルギーの地産地消への取り組みが広がりを見せ、さらには、約 1 年後の北海道新幹線の開業に向けて本州と本道が新たなレールで締結されるなどといった明るい話題が久しぶりにもたらされました。

しかしながら、私ども中小企業にとって、本道における人口の減少と高齢化の進展はジワジワと経済活力の低下を招き、また、これまで材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇を製品価格に転嫁できずにいた私どもにとって、昨年の北海道電力の大幅な料金再値上げは、まさに死活問題であり、多大の影響を被ることが予想されます。

こうした厳しい経営環境を乗り切るためには、今こそ組合員一人ひとりの力を結集し、その協同の力で様々な経営課題の解決に取り組んでいくことが極めて重要であります。何としてもこの冬を乗り切るため、引き続き、計画停電を含む停電を回避する取組について更なるご協力をお願い致します。

当組合といたしましても、組合員を取り巻くこうした厳しい経営環境を踏まえ、北海道経済産業局をはじめ北海道や札幌市、中央会との連携を一層密にし、経営革新や省エネ、設備投資や人材育成などへの支援情報の収集・提供とそのサポートに積極的に取り組んで参る所存でありますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

むすびに、この新しい年が皆様にとりまして更なる飛躍の一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます

（東邦交通㈱　代表取締役）

～　2015 年 新年ご挨拶　～

安全衛生協力会会長
花 田 一 彦

新年あけましておめでとうございます。

組合員、安全衛生協力会会員の皆様には、日頃より当協力会の運営に際しまして、多大なるご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

併せて、日頃より各企業におきまして安全衛生活動を推進していただいておりますことに、敬意を表する次第であります。

また、昨年は会員皆様のご協力により、平成 26 年に計画しておりました安全衛生協力会事業も滞りなく進めることができました。重ねてお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、それまでの駆け込み需要があったとはいえ 4 月からの消費税率変更による消費の低迷、急激な円安による物価の上昇、また電力料金の値上げ等により、景気の足踏み状況が続き、我々企業経営に携わる者にとりましては大変厳しい 1 年となりました。

甚大な被害をもたらした広島県での土砂災害、木曽御嶽山の噴火等の自然災害も発生し、多くの人命が一瞬に失われるなど、自然をコントロールできない人間の無力さを感じました。

11 月には長野県北部を震源とする地震が発生しました。建物の崩壊はありましたが、人的被害は奇跡的に負傷者だけで、これは当地が豪雪地帯ゆえ頑強な構造な建物であったこともあるようですが、日頃より地域の強い結びつきや住民同士の助け合いの精神が高く、無事逃げ出した人たちには救助隊が到着するまで崩壊した家屋に逃げ遅れた人がいないか確認したり、励ましあったりする役割分担もあったようです。

遠くの親戚より近くの他人という言葉もありますが、昨今希薄になりました近所付き合いや地域の絆を改めて考えさせられる教訓となったのではないでしょうか。

平成 26 年度上半期に行った労働災害事故調査の結果では、数件の休業災害の発生があったとの報告を受けておりますが、皆様の職場はいかがだったでしょうか。ちょうどこの時期は「年末年始無災害運動」期間中でもあり、これから本格的な厳冬期をむかえるにあたり、冬季特有の路面凍結による交通事故、除雪作業中の事故、屋外作業・通行中の転倒災害等も発生いたします。

各企業の皆様におかれましては、これまで通り安全衛生活動を継続され、事故・災害のない明るい未来に向けた一年のスタートとなりますことをお祈りいたします。

最後になりましたが、今年一年会員の皆様の益々のご発展とご健勝、職場の安全をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

（㈱花田鉄工所　代表取締役）

あとがき

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

（事務局一同）